



令和4年2月14日

活動報告会開催！「わが村は美しくー北海道」運動 ～第10回コンクールの優秀賞13団体が活動内容を報告します～

北海道開発局が開催しております「わが村は美しくー北海道」運動 第10回コンクールにおいて、優秀賞を受賞された13団体の取組等を紹介する、活動報告会（Web形式）を開催します。

第10回コンクールでは全道60市町村から75団体の応募があり、全道10のブロックごとの審査により、全部で13団体の優秀賞受賞が決定しました。（2／1に開発局ホームページで公表）

このたび、優秀賞受賞団体の栄誉を称えるとともに、優秀な取組を広く紹介することにより、活動団体及び「わが村は美しくー北海道」運動の認知度を高めていただくことを目的とした活動報告会を開催します。

なお、今回表彰された優秀賞受賞団体の中から、来年度（令和4年度）の大賞審査により、第10回コンクールの大賞を決定します。

日 時： 令和4年3月2日（水）13：30～16：10

開催方法： 各会場Web形式で行い、視聴を希望する方にはWebexにより配信します。

会 場： 全11会場（主会場及び副会場（全道10ブロック各会場））

※会場参集は関係者のみです。また、ブロック会場は設置しない場合があります。

申込方法： 視聴を希望の方は、下記のホームページから2月24日（木）までにお申し込みください。

そ の 他： 取材を希望の方は、別紙4の取材申込書によりFAXまたはメールで、2月24日（木）15：00までにお申し込み願います。

<添付資料>

- ・【別紙1】：活動団体報告会次第
- ・【別紙2】：案内パンフレット・申込書
- ・【別紙3】：活動報告団体（優秀賞受賞団体）紹介
- ・【別紙4】：取材申込書
- ・【別紙5】：「わが村は美しくー北海道」運動について

【「わが村は美しくー北海道」運動とは】

北海道の農山漁村が持つ、かけがえのない地域の資源（景観・地域特産物・人の交流）を守り、次の世代に引き継ぎ、そこに住む人々が誇りを持てる北海道の「わが村」の未来を創っていこう、との思いから生まれた運動です。「地域に住む方々が主体となった地域づくり活動の普及により、北海道の農山漁村全体が豊かになり、活性化をもたらす」ことを基本の考え方とし、地域で活動する団体などを支援しており、支援の一環として、それらの団体を対象としたコンクールを開催しています。

「わが村は美しくー北海道」運動の情報は、以下のホームページに掲載しています。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g7000000emhm.html



【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

農業水産部 農業振興課 課長補佐 桃井 謙爾（内線 5683）

農業水産部 農業振興課 農村振興第2係長 新津 由紀（内線 5685）

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>



令和3年度「わが村は美しく－北海道」運動 活動団体報告会

- 日 時：令和4年3月2日（水）13:30～16:10
- 主会場：北海道開発局研修センター（2階講堂）
- 副会場：各開発建設部（全10か所）
- 主 催：北海道開発局
- 共 催：NPO法人 わが村は美しく－北海道ネットワーク

次 第

1. 開会挨拶 13:30～13:35【5分】

- ・北海道開発局農業水産部長 細 井 俊 宏

2. 優秀賞受賞団体からの活動報告など 13:35～16:00【145分】 (休憩時間等を含む)

- ・第10回コンクールの優秀賞受賞団体（13団体）による活動報告
 - ※途中休憩あり。
 - ※団体の発表順などは調整中。参加者及び視聴者には詳細が決定次第お知らせします。

3. コンクールの今後の流れ（大賞の決定に向けて） 16:00～16:05【5分】

- ・北海道開発局農業水産部農業振興課より

4. 閉会挨拶 16:05～16:10【5分】

- ・NPO法人 わが村は美しく－北海道ネットワーク 理事長 中 井 和 子 氏



令和3年度 「わが村は美しく-北海道」運動 活動団体報告会



3/2 (水)
Web開催

★活動団体の概要は、
農業振興課ホームページを
ご覧ください★

https://www.hkd.mlitt.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g7000000emhm.html



日時：令和4年 3月 2日 (水) 13:30~16:10
場所：北海道開発局研修センター(メイン会場)ほか
内容：コンクール優秀賞受賞団体からのWebによる活動報告
参加費：無 料



参加しよう・広げよう・いいもの伝えよう

「わが村は美しく-北海道」第10回コンクール

主催：北海道開発局 共催：北海道、NPO法人わが村は美しく-北海道ネットワーク

後援：北海道総合通信局、北海道財務局、北海道農政事務所、北海道森林管理局、北海道経済産業局、北海道運輸局、北海道市長会、北海道町村会、北海道土地改良事業団体連合会、北海道農業協同組合中央会、北海道漁業協同組合連合会、北海道森林組合連合会、北海道経済連合会、北海道商工会連合会、北海道日本型直接支払推進協議会、北海道漁港漁協協議会、北海道木材産業協同連合会、(公財)北海道地域活動振興協会、(公社)北海道観光振興機構、(公社)北海道栽培漁業振興公社、(一財)都市農山漁村交流活性化機構、(一財)北海道農業企業化研究所、(一社)北海道商工会議所連合会、(一社)北海道消費者協会、(一社)北海道土地改良設計技術協会、(一社)シーニックパイウェイ支援センター、(一社)日本コミュニティ放送協会北海道地区協議会、NPO法人「日本で最も美しい村」連合、オーライ!ニッポン会議、学校法人北海道科学大学、北海道旅客鉄道(株)、(株)北洋銀行、(株)AIRDO、(株)リクルート北海道じゃらん、生活協同組合コープさっぽろ、朝日新聞北海道支社、毎日新聞北海道支社、読売新聞北海道支社、北海道新聞社、十勝毎日新聞社、日本農業新聞北海道支所、NHK札幌放送局、HBC北海道放送、STV札幌テレビ放送、HTB北海道テレビ放送、UHB北海道文化放送、TVHテレビ北海道

お申し込み・お問合せ

【お申し込み・お問合せ先】

- ◆ 北海道開発局農業水産部農業振興課
- ◆ 〒060-8501 札幌市北区北8条西2丁目 札幌第1合同庁舎
- ◆ TEL：011-709-2311(内5685) FAX：011-709-2145
- ◆ E-mail：hkd-ky-wagamura.u@gxb.mlit.go.jp

【お申し込み方法】

- ① FAXによるお申し込みの場合：下記申込書に必要事項をご記入の上、お申し込み下さい。
- ② E-mailによるお申し込みの場合：メール本文に申込書の必要事項をご記入の上、メールの件名を「参加申込」としてお申し込み下さい。

お申し込みは令和4年2月24日（木）までにお願いします。

※申し込みされた方には、開催日当日に、配信URLを記載したメールをお送りします。

※開催日までに、事前確認メールを送付しますので、迷惑メールフィルター等の解除をお願いします。

【参考】当方からの送付メールの末尾は（～@mlit.go.jp）です。

※2月25日（金）までに事前確認メールが届かない場合、お手数ですが上記連絡先までご連絡ください。

令和3年度「わが村は美しくー北海道」運動 活動団体報告会 参加申込書

参 加 申 込 書

(ふりがな) 参加者氏名	所 属	連 絡 先	メールアドレス
		住所 TEL FAX	
		住所 TEL FAX	
		住所 TEL FAX	
		住所 TEL FAX	
		住所 TEL FAX	

「わが村は美しくー北海道」運動 第10回コンクール

優秀賞受賞団体を紹介します（1） ※順不同です

農猿

南幌農産物の認知度の低さに疑問を抱いた若手農業者らが地域おこしや地産地消を目的に活動開始。“農業を身近に感じられるイベント”を目指した農業型体験イベント「野祭～YASAI」を開催。「ゆめびりか」の米粉でドーナツを製造する6次産業化や、軽トラの荷台に畑を作って収穫体験する等の食育にも力を注いでいる。



<札幌ブロック>

そらち南さつまいもクラブ



さつまいもに着目し、新たな産地化を目指して由仁町、栗山町の若手農業者が町の垣根を越えて設立。品種比較試験と食味審査等から品種は「べにあずま」、ブランド名を「由栗いも」(ゆっくりいも)に決定。両町で「さつまいもフェスティバル」を開催し、町内飲食店とのオリジナルメニュー開発・提供等を実施している。



<札幌ブロック>

奥尻高等学校オキシリイノベーション事業部
×奥尻ワイナリー

<函館ブロック>



離島のハンディをゼロに！

奥尻高等学校では、練習試合遠征等の交流を増やすべく予算確保のため、町内の産業振興に向けた商品開発の協力や商品のPR活動を行っており、その中で、奥尻ワイナリーによる、食育活動などのPR活動を協働で行うようになった。地元のぶどうを使ったワインの商品ラベル作成や食育活動を行い、遠征費の補填だけでなく、奥尻島のPRにもなっており、地域の活性化へ貢献している。



「わが村は美しくー北海道」運動 第10回コンクール 優秀賞受賞団体を紹介します（2） ※順不同です

ベジタブルワークス（株）

<小樽ブロック>



真狩村の風土を生かした7種類の野菜を特別栽培で生産・仕入れ・加工販売している。また、採りたて野菜をできる限り早く届けるため、自社便で首都圏へ直送している。また、後志総合振興局と連携し、冬期間スキーリゾートで働く国内外の若者達を雇用しながら、後志地域全体で通年働ける仕組み作りに協力している。



<旭川ブロック>

富良野市立樹海中学校



地域と密接に関わりを持ちながら「ふるさと樹海」に学ぶことを中心に活動。

地域の産業である畑作について学ぶ「カボチャの栽培や販売」、地域のごみ拾いを行う「クリーンタウンプロジェクト」、SDGsの実践として「古紙・空ビン回収」、地域の景観の素晴らしさを見直す「ふらの東山フォトコンテスト」への参加など、様々な取り組みを地域とともに実践し、今後の地域の担い手育成に寄与している。



けんぶちキヌア生産普及組合 <旭川ブロック>



キヌアの生産振興を図るため、栽培から収穫、製品化に関する一連の技術研究に取り組むとともに、生産者の所得向上を図るため、キヌアが備える優れた栄養成分や機能性についてPRしながら、市場調査や実需者との意見交換を行い、販売先を開拓している。



「わが村は美しくー北海道」運動 第10回コンクール 優秀賞受賞団体を紹介します（3） ※順不同です

北のなのはな会

＜室蘭ブロック＞



菜の花による新たな観光地化、特産品の開発、菜の花残渣を用いたバイオマス燃料（バイオコークス）利活用の研究や、食育教育の推進にも取り組んでいる。また、あびら観光協会主催の「菜の花さんぽ」に、後援として関わっている。



【有】 仁成ファーム

＜釧路ブロック＞



事業拡大を進める中、従業員の労働体系をどのような形にすべきか検討していたところ、地域の福祉事業者等と協議する機会があった。そこで2017年に設立された農福連携施設の音羽協働センターに、牛舎内作業の一部委託を実施。障害を抱える人たちに通年の作業を確保している。



北海道帯広農業高等学校 ＜帯広ブロック＞
食品科学科 地域資源活用分会



十勝の農業資源を活用し、十勝の企業と連携することで、地域性にあふれ地域に求められる商品開発を行っている。今回は、老化に伴うフレイル予防効果やスポーツに励む若い世代をターゲットにして、オリゴ糖（DFAⅢ）とヨーグルトを使用した商品の開発・販売の事業化に向けて研究を進めている。



＜帯広ブロック＞

ほんべつ豆まかナイト実行委員会



本別町の特産物である「豆」をテーマに、節分の時季にあわせ、「厄除け豆まき」を柱に多彩なイベントを開催し、豆のまち本別町から、豆の魅力を町外へ発信している。地元の子供たちが食育の一環として、イベントで使用する大豆の種まきや収穫体験を行っている。



「わが村は美しくー北海道」運動 第10回コンクール 優秀賞受賞団体を紹介します（4） ※順不同です

北海道遠別農業高等学校 <留萌ブロック>



遠別農業高等学校は宗谷、留萌管内唯一の農業高校として、日ごろからプロジェクト学習をととして地域の農畜産物や水産物に着目した商品の開発や、有機JAS取得とGAP認証を地域に先駆けて取り組むことで、農業を中心とした地域産業振興につながる専門学習を進めている。

多くの場面で地域と連携することで、日ごろの学習の必要性を再認識するとともに学習の成果を披露する場面になっている。

地域特産品の開発や地域農業課題へのプロジェクト学習を通して遠別町はもとより、留萌管内地域課題の解決と活性化を目的として専門学習を行っている。



えづらファーム

<網走ブロック>



42haの農地での畑作農業を基幹に、農業や農村の素晴らしさを広める為に、付加価値をつけた作物の通信販売・住込みボランティアの受入れ・農家民宿の経営・農場アクティビティの提供（畑ツアー、収穫体験、ピザ窯料理等）・農業を通じた企業研修の受入れ（東京のIT企業等）・農作物加工品の製造販売（冷凍じゃがいもの販売）等を行っている。



稚内農業協同組合 稚内牛乳

<稚内ブロック>

稚内の牛乳の美味しさを地元の人に知ってもらいたいとの想いから、生乳生産から乳製品製造を一貫して行う「稚内牛乳」を考案。牛乳・アイスクリーム・ヨーグルトなどを販売し、稚内ブランドの普及活動を行っている。



【別紙 4】

<取材申込先>

国土交通省北海道開発局農業水産部農業振興課 宛 (FAX) 011-709-2145

(E-mail) hkd-ky-wagamura.u@gxb.mlit.go.jp

取 材 申 込 書

令和3年度『「わが村は美しく-北海道」運動 活動団体報告会』の取材を希望する場合、本様式により、上記宛先までFAXまたはメール（本票ファイルを添付）でお申し込みください。

申込締切りは、2月24日（木）15：00です。

■会社名及び部署名

■取材者 役職・氏名（全員の役職・氏名を記載願います）

※Webex配信を希望の場合は、メールアドレスをご記入ください。開催日（3月2日午前9～10時頃）に配信用URLを送信します。
※会場での取材を希望の場合は、希望の会場に○をつけてください。申込受付後、当日の場所、集合時間を個別にご連絡いたします。

①（代表者）

Webex配信：メールアドレス

会 場：【主会場】 北海道開発局研修センター
：【副会場】 札幌・函館・小樽・旭川・室蘭
＜各開発建設部＞ 釧路・帯広・網走・留萌・稚内

②

Webex配信：メールアドレス

会 場：【主会場】 北海道開発局研修センター
：【副会場】 札幌・函館・小樽・旭川・室蘭
＜各開発建設部＞ 釧路・帯広・網走・留萌・稚内

③

Webex配信：メールアドレス

会 場：【主会場】 北海道開発局研修センター
：【副会場】 札幌・函館・小樽・旭川・室蘭
＜各開発建設部＞ 釧路・帯広・網走・留萌・稚内

■テレビカメラ持込みの有無（該当するものに○をつけてください）

有 ・ 無

■連絡先（代表者の連絡先）

※ご記入いただいた個人情報については、本案件に関するご連絡以外では使用しません。

「わが村は美しくー北海道」運動について

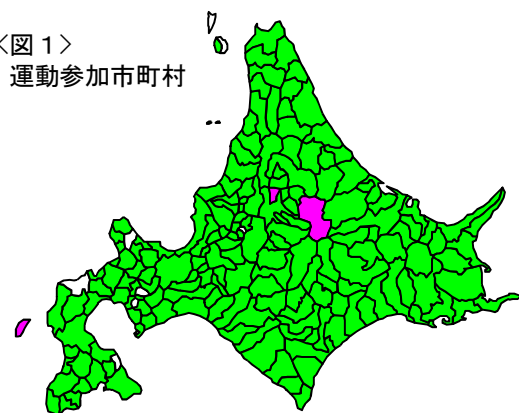
【別紙5】

- 「わが村美しくー北海道」運動は、北海道の農林水産業をより「豊かに」、農山漁村がより「美しく」なることを目指し、平成13年にスタート。
- 運動では「景観」・「地域特産物」・「人の交流」を地域資源ととらえ「いいもの」を多くの人に伝えるため様々な活動を実施しており、活動のひとつとしてコンクールを開催し、道内各地の地域資源を活用した住民活動に光を当て、全国に発信。
- 第10回コンクールでは75団体が応募（R3.6/30締切）。新たに3町からの応募が加わり、全道179のうち172市町村が参加（96%）。

【コンクールの全道への拡がり】

＜図1＞

運動参加市町村



- 第10回コンクール
新たな運動参加市町村
(奥尻町、鷹栖町、上川町)
- 運動参加市町村

＜表1＞ これまでのコンクール参加団体数及び受賞団体数

		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	計
		H13-14	H15-16	H17-18	H19-20	H21-22	H24-25	H26-27	H28-29	H30-R1	R3-4	
参加団体数 (重複分を除く)		114 (114)	160 (119)	170 (122)	169 (100)	200 (130)	113 (73)	99 (64)	86 (57)	61 (41)	75 (51)	1,247 (871)
景観	金	—	—	—	—	—	大賞 3	大賞 3	大賞 2	大賞 2		
	銀	4	—	1	—	1						
	銅	—	2	1	1	1						
地域特産物	金	2	2	2	2	2	優秀賞 14 奨励賞 34	優秀賞 14 奨励賞 30	優秀賞 14 奨励賞 26	優秀賞 13 奨励賞 21		
	銀	2	2	2	1	2						
	銅	2	3	2	3	3						
人の交流	金	2	1	1	1	2						
	銀	2	3	3	2	2						
	銅	3	3	2	3	2						

第10回コンクール 今後のスケジュール

令和3年度(予定)

公募
(～R3年6月30日)

ブロック審査委員会
(R3年7月～R3年12月)

優秀賞・奨励賞の決定
(R4年1月)

- ・各開発建設部毎に設置
- ・応募団体の現地調査
- ・優秀賞・奨励賞の審査・選考

- ・受賞団体の決定
- ◎優秀賞表彰者～開発局長
- ◎奨励賞表彰者～各開発部長

- ☆優秀賞～優秀な活動を選考
- ☆奨励賞～将来性や継続性から奨励する活動を選考

令和4年度(予定)

大賞審査委員会
(R4年7月～R4年9月)

大賞決定
(R4年10月)

- ・優秀賞受賞団体の中から大賞候補団体を審査、選考
- ・審査委員は、外部有識者で構成

- ・第1回大賞審査委員会
(R4年7月頃の開催を予定)
- ※審査委員会は2～3回の開催を予定

- ・受賞団体の決定・表彰
- ・大賞表彰式
(令和4年11月頃)
- 表彰者～開発局長

- ☆大賞～運動を引率する先導性、モデル性の高い団体を選考

◆運動による地域活動支援

○「わが村は美しくー北海道」運動では、コンクール開催のほかに、様々な地域活動支援を展開。

わが村参加団体の活動支援

J R北海道車内広報誌に
受賞団体記事を連載



「チカホ」でプロモーション放映
(札幌市との連携)



観光ビジネスマッチング
(北洋銀行連携協定の活用)



首都圏でPR活動実施
(東武百貨店 池袋店)



- ✓ 北海道開発局ホームページから情報発信。
- ✓ メールマガジンの配信。
- ✓ Facebookによる情報発信。
- ✓ 地域活性化に資する連携協定の活用(観光ビジネスマッチングへの参加)。
- ✓ 首都圏でPR活動実施(大北海道展への出展)。
- ✓ 札幌市との連携による「チカホ(地下歩行空間)」の活用。

他施策との連携による活動支援

- ・第8期北海道総合開発計画では、世界水準の観光地の形成を目指し、地域の様々な主体が連携した受け入れ環境の改善を推進。
- ・わが村参加団体が他の地域振興施策と連携して活動を行うことで、魅力ある観光地の形成と、より効果的な情報発信が期待。



「シーニックバイウェイ北海道※」との連携

※景観(Scenic)・より道(Byway)の造語で、地域の活動団体が植栽による花ロードづくり等を行い、地域の魅力を道でつなぎながら個性的で美しい地域づくりを目指す施策。

- ・わが村参加団体がシーニックバイウェイの広域的な取組に参画することで、集客の増加と、より魅力的な観光周遊ルートの形成が期待できる。



シーニックバイウェイフリーペーパーにわが村団体の記事が掲載('19夏秋号)